

# 情報公開文書

研究の名称	早発卵巢不全患者の拳児を目的とする、卵巢組織の凍結保存、賦活化ならびに自家移植治療 【IVA】
整理番号	臨 27-28
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学附属病院
研究責任者	富山大学附属病院 産科婦人科 教授 中島 彰俊
研究の概要	<p>【研究対象者】</p> <p>早発卵巢不全（POI）患者または 体外受精を施行する 2011 年の ESHRE ガイドラインで提示された 1～3 月の全ての基準（下記参照）を満たす卵巢機能低下症（Poor responder）患者、 20 歳以上 46 歳未満の既婚女性患者 *Poor responder 患者の国際的な診断基準として 2011 年のヨーロッパ不妊学会（ESHRE）の定めた以下のものが知られている。</p> <p>1) 高齢（40 歳以上）または他の Poor responder のリスクがある患者 2) 過去に 1 回の卵巢刺激に対する低反応（通常の卵巢刺激下で採卵卵子 3 個以下） 3) 卵巢予備能検査で異常を認める（超音波下胞状卵胞数計測：5-7 個未満、または抗ミュラー管ホルモン値 0.5-1.1ng/ml 未満）のうち、少なくとも 2 つの特徴を有する。</p> <p>【研究の目的・意義】早発卵巢不全被験者および重度の卵巢機能低下症患者に対する IVA 治療の更なる確立を目指す。</p> <p>【研究の方法】研究のデザイン：非無作為化介入試験</p> <p>使用薬剤：EGF パウダー（PeproTech 社製）</p> <p>conventional-IVA, fresh-IVA, Drug free IVA(卵巢皮質断片化移植法、卵巢皮質切開法、卵巢皮質断片化移植法 + 卵巢皮質切開法)の実施</p> <p>【研究期間】倫理審査承認後～2026 年 7 月 31 日（5 年間）</p> <p>【研究結果の公表の方法】論文で発表する。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	年齢、性別、身体所見、超音波検査、血中ホルモン値(エストラジオール、プロゲステロン、FSH, LH) 研究計画書に定められた規定期間に来院日に来院が困難な場合は、他院での治療状況、検査データをレターにて入手する。当機関で得られた情報は、他の機関へ提供されることない。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 産科婦人科 教授 中島 彰俊 順天堂大学医学部 産婦人科学教室 教授 河村 和弘
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部 医学系 産科婦人科学教室 教授 中島 彰俊
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-2315 E-mail obgyn@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 産婦人科学教室 伊東 雅美